

こんな資料があります

「伊勢湾台風 雑誌記事特集」

【資料の概要】週刊誌、文芸誌、専門誌、行政資料等の特集を複製製本した資料。17冊あり、主な内容は以下のとおり。

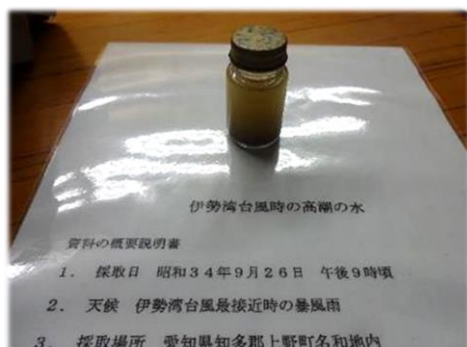
No. 1	「どろ水と戦った十日間」 等
No. 2	「月刊名古屋港」昭和35年2月,「名古屋商工会議所月報」No.197 等
No. 3	「教育愛知」昭和34年10月,昭和34年11・12月合併 等
No. 4	「文芸春秋」昭和34年12月,「中央公論」昭和34年12月 等
No. 5	「ジュリスト」昭和34年12月15日号,「地理」昭和35年8月号 等
No. 6	「科学朝日」昭和34年12月,「土木技術」昭和34年11月 等
No. 7	「女性自身」昭和34年11月25日,「サンデー毎日」昭和35年3月27日 等
No. 8	「週刊読売」昭和34年10月11日,10月18日 等

等

資料室の開設は、平成4年3月。伊勢湾台風からすでに30年ほど経過しており、当時出版された雑誌等は入手困難でした。しかし、雑誌類はその当時を知るために大変有益な資料であるため、関連記事を調べ、所蔵先を調べ、該当部を複製製本したものです。



「伊勢湾台風時の高潮の水」



【資料の概要】昭和34年9月26日午後9時頃、愛知県知多郡上野町名和地内で採取した水。

伊勢湾台風から55年の2014年に、ご寄贈いただきました。図書館資料として“水”は大変珍しいものです。見学者の方々にお見せすると、驚かれますが、その分、印象に残る資料です。

こんな質問がありました



伊勢湾台風当時のテレビやラジオの普及率が知りたいです。



テレビは **23.9%**、ラジオは **91.1%**です。圧倒的にラジオの普及率が

高いです。ともに昭和 34 年 3 月末現在の名古屋市の普及率です。『受信契

約数統計要覧 昭和 33 年度』（日本放送協会／編 日本放送出版協会

1959 年）に記載がありました。この資料は、鶴舞中央図書館が所蔵して

います。鶴舞中央図書館は、大正 12 年から続く歴史ある図書館で、蔵書も約 138 万冊。伊勢湾台風のみならず、郷土資料やさまざまな調査研究の資料が揃っています。ぜひ、ご利用ください。

イベント・関連情報

1月31日（金）～2月28日（金）南生涯学習センター『令和元年度後期講座 伊勢湾台風の教訓を未来へ』が開催されます。全 5 回にわたり、伊勢湾台風や防災について学ぶ講座です。（いずれも金曜日、第 2・3 回は現地学習）

回	月日	タイトル	講師（敬省略）
1	1月31日 終了	【公開講座】 伊勢湾台風の甚大な被害を忘れない	南歴遊会 安井勝彦氏
2	2月7日	南図書館伊勢湾台風資料室を訪ねて	南図書館司書
3	2月14日	区内に残る伊勢湾台風の痕跡をたどって	南歴遊マイスター
4	2月21日	【公開講座】 伊勢湾台風後に行われた対策と意識の変容	名古屋大学名誉教授 辻元哲郎
5	2月28日	伊勢湾台風の教訓を未来へ	南区役所総務課防災担当主査

申込等は、南生涯学習センターへお問い合わせいただくか、館内チラシをご覧ください。

お願い

南図書館では、伊勢湾台風に関する資料を常時収集しています。ご寄贈いただける資料がございましたら、ご一報ください。関連展示、講演会などの情報もお待ちしています。

発行：名古屋市南図書館 令和 2 年 2 月 1 日発行

名古屋市南区千竈通 2 - 10 - 2

TEL：052-821-1732 FAX：052-821-3364

